



～ばんじゃく便り～

そよかぜ通信

令和7年 新春号



新年のごあいさつ

磐石ローヤルゼリー株式会社
代表取締役社長 清原雅美

新年あけましておめでとうございます。
新しい年を、皆さまが穏やかに迎えられた
ことを心よりお喜び申し上げます。

2024年は、大きな地震や記録的な猛暑、社会的にも総理大臣の交代やアメリカでの大統領選挙など多くのことがありました。また、パリオリンピックでの日本選手の素晴らしい活躍、大谷翔平選手の50-50達成など、嬉しいニュースもたくさんありました。そしてコロナ禍の影響もすっかり薄れ、色々なことが動き出した一年でした。

磐石では、新たな商品として「プロポリスのど飴」を発売いたしました。プロポリスについては、ミツバチが口にしない事から、長年慎重な姿勢を持ち続けておりました。しかし、プロポリスの有用性が広くそして長い間認識され、安全性も確立したことから、磐石でもミツバチ製品のひとつとしてご提供を開始いたしました。

体内からサポートをするローヤルゼリーと異なり、プロポリスは、外部からの悪影響に対抗する力を持っています。ネオローヤルゼリーで体の中から元気を支え、プロポリスで外部からの影響を守るといふ、2つのアプローチを組み合わせ、より健やかで安心した毎日を皆様にお過ごしいただきたいと思っております。

健康こそが、幸せな日々の礎であることは言うまでもありません。

2025年も、皆さまの日常が元気に、笑顔にあふれ、幸せなものでありますよう、心を込めた商品のご提供をしております。

今年も、どうぞ変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、皆さまとご家族が健康で幸せな一年をお過ごしになりますよう、心よりお祈り申し上げます。

女王バチの生命力を皆様へお届けしたい

女王バチは産卵することが仕事です。最盛期には、毎日1,500～3,000個の卵を産卵します。その重量は自分の体重の1.5倍にもなります。そのエネルギーの源が「ローヤルゼリー」です。働き蜂と女王蜂は同じ卵から産まれますが、女王蜂は働き蜂に比べ体格が2倍以上、寿命が40倍にもなります。その違いは食べ物だけ。働き蜂が「はちみつと花粉」が主食なのに対し、女王蜂は生涯「ローヤルゼリー」を食べ続けます。



このような女王蜂の生態から、「ローヤルゼリー」の研究が世界各国でなされ、活性度の問題などに取り組み日本で最初に私たち人間のためにより良い商品を開発したのが磐石のネオローヤルゼリーです。

磐石のローヤルゼリー

【合理的濃縮技法の確立】

ローヤルゼリーはとてもデリケートな物質です。腐敗しやすい上に「熱・光・酸」に弱い特性があり加工や流通が課題でした。磐石では成分を壊さないで保存するための乾燥法を見つけるのに約10年をかけて研究を重ね、世界で2番目、日本で初めて成分を壊さない乾燥法を確立しました。

「胃酸に触れない粒状」

磐石のネオローヤルゼリーは耐酸性皮膜を施して糖衣をすることにより、胃で溶けずに腸で溶けて吸収されるように作られています。



〈ネオローヤルゼリーの断面図〉

「5粒で適量摂取」

ローヤルゼリーは必要以上に摂取しても吸収されず、逆に排出するためのエネルギーが必要になるため吸収率が悪くなってしまいます。磐石では「適量」をみつけるまでに長い年月をかけて研究し現在は健康な成人の方には「1日5粒」を目安に摂取していただくことをお勧めしています。

はちみつの結晶



たいていの蜂蜜は時間が経ち寒くなると白く固まってきましたが、これを「結晶」と言います。これは蜂蜜に含まれるブドウ糖のしあぎです。

磐石の蜂蜜は、網でこしただけの生の状態です。採れてそのままの蜂蜜だからこそ、寒くなると結晶します。この季節ならではのジャリジャリとした触感もお楽しみください。

とはえプッシュボトル入りの蜂蜜で、固まっていると使いにくい時はボトルのまま、50度前後のお湯に容器ごと入れて湯煎して下さい。鍋に入れてそのまま火にかけたり、電子レンジに入れたりすると、高い熱がかかり、せっかくの生蜂蜜の酵素や成分が壊れてしまいますので、お気をつけください。

冬に大活躍！「みつろうクリーム」の活用術

磐石の黒いクリームは、保湿クリームとして使うだけではもったいない。椿油やローヤルゼリー、黒焼きの成分で出来ていて、口に入れても安心安全です。乾燥による肌荒れだけでなく、あかぎれ、口内炎など幅広い用途でご使用されている方もいるようです。



ミツバチ通信

12月中旬から急に気温が下がり、近年は暖冬が続いていましたが、今年はどうやら寒い冬になりそうです。ミツバチたちは女王バチを中心に巣箱の中央に「蜂球(ほうきゅう)」という塊を作り、自分たちの体温を体寄せ合って維持し、女王バチと互いを寒さから守りながら温かくして、花が咲き乱れる春を待っています。(養蜂担当:清原康司)



《編集後記》

冬になると沢山出回る「みかん」が今年は全国的に品薄で、価格が高いと聞きます。昨年ミカンはどこも「裏年」にあたり花が少なかったようで、弊社「熊本県産みかん蜜」も規格によって品薄になりつつあります。今年、新蜜が採れるまで皆様のご要望にお応えできない事が多々あるかと思われませんが、ご理解を賜りますようお願い致します。(..)

発行:磐石ローヤルゼリー株式会社
所在地:熊本市中央区上京塚町2-15

